

人材確保・育成、地域間連携のロードマップの 実践による集落営農組織の活性化

湖北農業普及指導センター

【普及活動のねらい・対象】

米原市伊吹地域では、12の集落営農組織が地域農業や農村の維持・発展に重要な役割を担われてきました。しかし、構成員の農業への関心や営農活動への参加意識が希薄となり、役員やオペレーターの固定化が進んだことから、新しい人材の確保や育成が課題となりました。

そこで、昨年度、当センターが各集落営農組織ごとに支援し、課題解決の方向性と具体策を示したロードマップが作成されたことを受け、本年度はロードマップに基づく活動が実践されるよう支援しました。

【普及活動の内容】

当センターを中心に、米原市、JA レーク伊吹と連携し、「集落営農を次世代へつなぐ研修会」を2回開催しました。

1回目は、ロードマップに基づく取り組みの促進を目的として8月に、県内で先進的に取り組まれている実践者の講演と各組織から取組の進捗状況を発表して頂きました。

2回目は12月に、各組織ごとのグループワークで取り組み内容をまとめ、発表して頂き、活動の共有を図りました。また、集落営農を研究されている大学教授から今後の展望を含めて講演して頂きました。

普及指導員が研修会の企画やグループワークでのファシリテーターを行い、研修会の円滑な開催と集落役員から取組内容を引き出せるよう努めました。

【普及活動の成果】

6つのロードマップに基づき、9つの集落営農組織が実践活動されました。その結果、これまでベテランの役員のみで活動されてきた組織に30代や40代の若者がオペレーターとして参画されたり、女性が役員に就任された組織ができたりするなど、人材の確保や育成が進みました。

今後も、集落営農組織が地域の農業・農村の担い手として維持・発展されるように支援します。



写真1 普及指導員がコーディネート



写真2 集落役員から取組を発表

◎対象者の意見

ロードマップを実行し、若い方に役員になってもらえたり、オペレーターの育成に取り組んだりすることができました。今後も人材確保や育成に取り組みたいです。(A 集落営農常務理事)